

13.5.29

日 経

子宮頸がんワクチン副作用 手足まひなど8人

N29
厚労省

厚生労働省は28日、グラクソ・スミスクライン社製の子宮頸(けい)がんワクチン「サーバリックス」について、昨年12月までの3年間に副作用が8人報告されたと発表しました。中枢神経に炎症が

起きる急性散在性脳脊髄炎(ADEM)が3人、手足のまひなどが生じるギラン・バレー症候群が5人で死亡例はない。

厚労省は既に、添付文書の副作用欄に発症の恐れを追記するよう同社に

指示。子宮頸がんワクチンは2種類あり、MSD社製の「ガーダシル」は添付文書にこれらの症状が記載されている。

同省によると、サーバリックスは3年間で推計273万人が接種した。ADEMはインフルエンザや日本脳炎のワクチンなどでも接種後の副作用が報告されている。

子宮頸がんワクチンは今年4月から定期予防接種の対象に加わった。

13.5.29 読 売

改訂で副作用2種類を追加

グラクソ・スミスクライン社が製造販売する子宮頸(けい)がんワクチン「サーバリックス」について、添付文書の副作用(重大な副反応)に、発熱や意識障害などを引き起こす「急性散在性脳脊髄炎(ADEM)」、手足に力が入らなくなる「ギラン・バレー症候群」を追加する改訂を行ったと、厚生労働省が28日、発表した。

使用者は2009年12月～12年12月に約273万人と推計されるが、今年1月末までにADEM3例、ギラン・バレー症候群5例の副作用報告があった。